

# 地域社会

## 高岡銅器の今、未来語る

富山新聞文化センター寄付講座

### 富大竹中銅器社長が講義

富山新聞文化センターの寄付講座「経営学の現場 地域企業の経営者から学ぶ」第12回は4日、富大五福キャンパスで開かれ、竹中銅器(高岡市)の竹中伸行社長が学生に高岡銅器の現状と可能性を伝えた。

「高岡銅器産業の過去、現在、未来像」をテーマに講義した。竹中社長は高岡銅器は前田家ゆかりの産業で、同社は約90年の歴史があると説明。現在は全国でアニメキャラクターとコラボした銅像などを手掛けていると紹介した。

富山マネジメントアカデミーが母体となっている。次回は11日、高岡信用金庫の清水康雄常務理事が登壇する。

竹中社長は銅器の質の高さから外国からの注文が増えており、今後は海外市場への対応が重要と強調したほか、技術者の高齢化で技術伝承が課題だと話した。



寄付講座は、富山新聞文化センター富山教室で2015年高岡銅器の将来について語る竹中社長  
|| 富大五福キャンパス